

次世代育成研究室（武田洋子先生）

▶武田先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

- ・保育者養成の仕事に携わって10年ほど経ちますが、それまでは臨床心理士として医療や教育の現場で働いていました。その中で予防的支援の重要性を痛感し、心理相談室で困っている方を待っているのではなく、地域に出向くようになり、保育者の先生方と協働して、“子どもと親御さんを共に育てる”ということをお大切に支援を行ってまいりました。
- ・NICU(新生児集中治療室)、小児科、幼・小・中・高のスクールカウンセラー、大学学生相談室など、多様な臨床現場でさまざまな年齢の子どもや保護者の支援に携わってきたことは私の財産です。乳幼児期だけを見るのではなく、長きにわたる育ちを見通しながら、子どもと保護者を支えることの大切さを学生の皆さんに伝えていきたいです。
- ・主な授業科目：「教育相談」「保育カウンセリング」「子ども家庭支援論」「在宅保育」など

▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

私のゼミでは全員に卒業論文の執筆を課しており、ほとんどの学生が子育て支援に関することをテーマにして取り組んでいます。一口に「子育て支援」と言っても、それが示す範囲は広く、内容も多彩です。「子育て支援」と称されるものについて、皆さんがどのような点に興味を持っているのかを知り、その研究を応援していくことを楽しみにしています。ゼミ生同士の学びあいも大切にしており、皆活発に意見を出しあっていて賑やかです。卒論を書くことはいろんな意味で自分自身と向き合うことでもあるし、論文として仕上げることは大変だけれども、達成感も大きいようです。あるゼミ生が親御さんに卒業論文を見せたところ、お読みになった親御さんが感激されたとのこと。嬉しいエピソードです。



▶もっと知りたい方へ（詳しくは、東京家政大学 HP 研究者情報データベースをご覧ください）

- ・論文：武田（六角）洋子（2017）「利用者への調査から見た地域子育て支援拠点における支援者の役割」心理臨床学研究, 35(2),125-135 頁
著書：「子ども家庭支援論」（分担執筆 建帛社）「子ども家庭支援・子育て支援入門」（分担執筆 ミネルヴァ書房）「子ども家庭支援の心理学」（分担執筆 みらい）
- ・学位：博士（人文科学） ・所持資格：臨床心理士、公認心理師
- ・児童学部のPR動画に出演しています。楽しく撮影しました。是非ご視聴ください！

<https://youtu.be/cRx9OFg80Ws>